

ゴグ 大首長であるマゴグの備え

中東で起こっている興味深い出来事。

今こうしている間にも、シリアのアレppo市内に爆弾が投下され、大勢の人が殺され、周辺一帯は完全に破壊されている。これは、アメリカのヨーロッパ外交術に対する、プーチン大統領からの挑戦で、ちょうど、わたしが話している間も、国連安保理で、重要な会議が行われており、その中で、アメリカとヨーロッパは、ロシアが、アレppoで激しく行っている殺りくについて、嘘をついていたと非難している。数時間前、プーチン大統領は、前代未聞の形で外国記者を招集して、自分の考えを述べ下地を敷いた。地域に対する、アメリカとヨーロッパの政策に公然と挑戦し、彼が単独で行動を起こす理由について話し、アメリカを非難した。プーチン大統領は、思いもよらない方向に話を向け、「アメリカが、これまでずっと嘘をつきとおし続けてきた。それは、シリアに関してだけでなく、イランとの核協議を推し進め、その結果を誇っていた。イランが、もはや脅威でなくなったのは確かにその成果だ。しかし、そのアメリカが、今度はイランの核の脅威から守るためと言って、ルーマニアとウクライナに、ロシアに対するミサイル防衛システムを導入させた。アメリカは世界を欺いている。」と言った。片方では、イランと協議し協定を結び、世界に向かって、イランはもはや脅威でない、危険ではないと言い、しかし、同時にアメリカは、ルーマニアとその他のバルカン地域に、ミサイル防衛システムを設置した。その理由は、イランの核に備えるものと言う。プーチンはオバマ大統領の、外交政策の無責任さを完全に暴露した。現在の中東の緊張感、アメリカとロシア間の緊張感は、おそらく冷戦終結後、かつてなかったところまで来ているだろう。しかし、プーチンが、外国記者たちに伝えた、話の行間を読んでも、プーチンが本当に言おうとしていることは「たった今から、アメリカがロシアに、何を言おうと、何をしようとも、わたしはそれに完全に対抗し、中東で行動を起こす。それは、彼らが偽りにまみれ、真実を言っておらず、嘘をついているからだ。だから、わたしにとって彼らは、存在しないも同然なのだ。」これによってプーチンは、将来攻撃が必要ならば、自ら大きな動きに出るという立場に、自分を据えた。

なぜ、これがそれほど興味深いのか、わたしはこれを、「ゴグ 大首長であるマゴグの備え」と呼ぶ。皆さんは、知っているかもしれないが、万里の長城とは、別名「マゴグの壁」とも呼ばれ、古代名で、マゴグと呼ばれていたロシアから、中国を守るために、建てられたのである。マゴグの大首長であるゴグは、エゼキエル 38 章に書かれている攻撃を仕掛けようとしている。現在わたしが見ているのは、去年 ISIS を口実にロシアが中東入りし、現在も戦っているような、物理的な動きだけでなく、現在ロシアは、全世界に宣言している。「そうだ。自分たちはシリアに入っている。我々は、どんなことでもやりたいように行う。お前たちがしていること、お前たちの言うことに立ち向かって、我々はさらに大きなことをしようとしている。」「それはお前たちに、一切の真実も誠実もないからだ。」と。

現在起こっていることは、基本的に、ロシアは国際的にもヨーロッパ、アメリカから一切指示を受けず、安心して、また安全に、さらに言うなら堂々と、単独行動をしている。これは、とても気がかりなことであり、またとても興味深く、驚くに値しない。わたしが気がかりなのは、見ての通り、彼らの行動は、平和的なやり方ではなく、大量の爆弾を、アレppoにいる罪のない住民たちの上に次々と投下しているということだ。しかし、また同時に、時が来れば彼らは、イスラエルに攻め込むことが見えてきた。彼らは、もはやそれをためらわない。ロシアは、「我々は、これまでずっと、ヨーロッパとアメリカに騙されてきた。今後一

切、自分たちの行動に、彼らの意見を取り入れない。我々は、自分たちが必要と思うことを行い、自分たちが必要だと思う時は、いつでも行動に出る。」と、全世界に伝えている。

以前から言ってきたが、繰り返して言おう。「シリアで起こっていることから目を離さず、ロシアの大統領の動きに注目しておいてほしい。わたしは今まで、例えば、誰が反キリストで、誰が偽預言者だ、というようなことは、一度も言わなかった。しかし、今日初めて言うが、プーチン大統領が、エゼキエル 38 章のゴグである可能性、は非常に高いと考えている。これには、わたしの周囲の人たちも同意見である。わたしは、エゼキエル書が成就されようとする、このような時代に生きていることを非常に幸せに思う。しかし、また同時に、わたしたちはこれらのことに巻き込まれている人たちのために、続けて祈らなければならない。アレッポでは、何の罪のない大勢の一般市民が、西欧対ロシア、シーア派對スンニ派、クルド人対トルコなどの闘争に巻き込まれて、激しく虐殺されている。そして、その間には、中東のクリスチャンたちが苦しみ、無実の一般市民は逃げる資金も無く、その場から逃げ出すこともできずに、大勢苦しんでいる。アレッポの町は、完全に破壊されていて、そこから脱出するだけのお金があっても、または助け出してくれる人がいても、逃げられず、ただ不可能なのだ。シリア軍、ロシア空軍、ヒズボラ、イラン兵が、まさに文字通りアレッポの町を破壊している。ちなみにアレッポは、シリア最大の都市でダマスコよりも大きな町である。だから我々は、信じがたいことを目にしてるのである。繰り返すが、今こうしている間も、国連安保理の緊急会議が開かれており、同時にロシアの大統領が、初めて外国人記者に向けて、記者会見を開いている。そして、これから何を行い、なぜそれを行うのか、下地を敷いている。彼は、アメリカの政権が正真正銘、彼に嘘をついたと非難している。これほどの軍隊を備えた大きな国の指導者が、このように非難するのは、非常に深刻な事態であるということなのだ。

ということで、現在我々が目撃している、中東の情勢は、わたしの予想よりも、はるかに速いスピードで展開しているということ。今夜行われる、トランプとヒラリーの討論会に、皆さん注目しているだろう。しかし、この選挙で誰が当選したとしても、1 月には、新しい大統領がホワイトハウスに入る。間違いなくオバマは、中東では全く信頼されておらず、さらに今はロシアとその味方からも一切信頼されていない。今この時点で、アメリカには中東での出番はほとんどないので、ロシアの動きの裏側に、気を止めておいたほうがいいたろう。なぜなら、ロシアは、今激しく激高しており荒々しさを増している。そして、その付けを払っているのは、アレッポの貧しい人たちだ。わたしは、また深刻なことがあれば動画をアップロードしていく。しかし、まず重要なことは、中東で見聞きしていることを知り、目を天に向けよう。贖いが近づいている。God bless you!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジャーナル Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージをアメリカ在住の日本人クリスチャン言波さんが翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL（英語）、「神さんの言うとおり」（日本語）を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4：7 はこの声に聴き従います。目の異常でパソコン作業に非常に困難を覚えている私のためにもお祈りください。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Ryoku